

焼津市国際友好協会 友好団体の活動の紹介

焼津市内には、海外の市町と交流を図る団体や、外国につながる市民との交流等を目的とした団体が複数あります。興味のある方はぜひお問合せを。

国際生活文化交流 ワールドプラザ

TEL 054-628-5095 (長房)

下記のとおり、事業を実施しました。

- 6月 モンゴルと日本の子どもたちによる絵画交流会・モンゴルの文化や生活様式の紹介(焼津南小学校)
- 8月 「世界の果ての通学路」上映会(小川地域交流センター)
「世界のほっこ、ちいさな教室」上映会(大井川地域交流センター)
- 9月 モンゴルと日本の子どもたちによる絵画交流会(焼津東小学校)



認定 NPO 法人 SHIDA

TEL 054-624-3194 (杉山)

タイ・ミャンマー国境・山頂の学校へ、楽器文具の贈呈。30年にわたる活動で、鍵盤ハーモニカ1000台余等。奨学金支援により、先生15人、看護師5人のほか国家公務員、銀行員、通訳、航空会社スタッフなど人材を輩出しました。



焼津日本語教室



港教室

十数か国出身の皆さんが、ボランティアと一緒に日本語を通じて交流を楽しんでいます。日本語のレベルを問わずいつからでも参加できます。ボランティアも募集中!

日 時: 第1~第4金曜日 19時~21時
会 場: 港地域交流センター
問合せ先: 090-4466-8094(鈴木)



大村教室

毎月2回、楽しくにほんご教室を開催しています。また、随時、学習者、サポーターを募集しています。興味のある方は、ご連絡ください。

日 時: 第2と第4土曜日 10時~11時
会 場: 大村地域交流センター
問合せ先: 090-6333-9474(村松)



焼津・ホバート友好協会

TEL 054-626-1135 (市役所 国際交流課内)

10月に、マウントカーメルカレッジの学生等20人が5年ぶりに来焼しました。学生たちは、焼津中学校で授業・給食、市内でホームステイを体験し、交流を深めました。姉妹都市提携50周年に向け、今後も市民の機運醸成を図っていきます。



▲ホバート交流学生の茶道・浴衣体験

焼津市日中友好協会

TEL 054-626-1135 (市役所 国際交流課内)

11月23日に「中国伝統芸能セミナー&ステージ」を開催しました。参加者は、第1部で伝統芸能の歴史を学び、第2部での中国雑技や変面の魅力溢れるステージに歓声を上げていました。楽しく学びの多い中国文化講座でした。



▲中国の伝統芸能(変面)

焼津モンゴル友好協会

TEL 054-626-1135 (市役所 国際交流課内)

8月にモンゴル国で開催される日本に関する最大のイベントである「ジャパンフェスティバル」を視察しました。来年度、焼津市の特産品などをPRするため、本イベントへの出展を目指し準備を進めてまいります。



▲ウランバートル市チンゲルティ区表敬訪問



焼津市 No.59 —2024年11月— 国際友好協会だより

●発行 焼津市国際友好協会(焼津市協働推進課内)

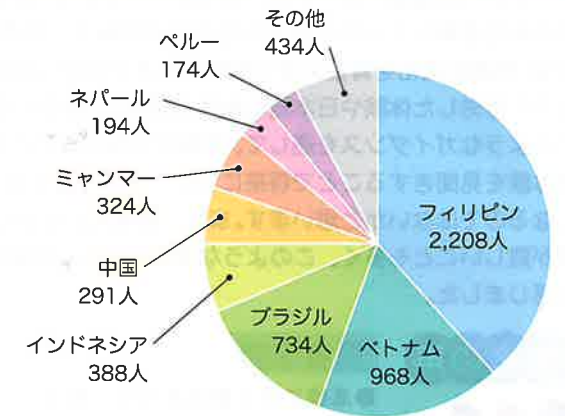
〒425-8502 静岡県焼津市本町 2-16-32 TEL054-626-2191

焼津市に暮らす『外国につながる市民』

焼津市には、49カ国の外国につながる市民が生活しています。総人口に占める割合は、4.22%です。10年前の2014年の人数と比べると約2,700人増加しています。

総人口	135,444人
うち、外国につながる市民	5,715人

2024年10月末現在



多文化共生とは?

『国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。』
(2006、総務省「多文化共生の推進に関する研究会報告書より」)

焼津市は2021年3月に「焼津市多文化共生推進計画」を策定しました。「互いに認め合い ともに作る 多文化共生のまち」を目指す将来像とし、市民の皆さん、事業所、関係団体等と協力し合いながら、誰にとっても住みやすく、皆がいきいきと自分らしく生活できる街づくりを進めています!



焼津市は
多文化共生を
推進しています!

焼津市国際友好協会の「Facebook」や市の「LINE」・ホームページで情報を発信しています!

Facebookでイベントや生活に必要なお知らせを、やさしい日本語や多言語で紹介しています。ぜひ「いいね!」を押して、お知り合いにも広めてください。



協会 Facebook

焼津市の公式LINEの「受信設定」より「やさしい日本語でお知らせがほしいとき」を選んで登録していただくと、「やさしい日本語」のお知らせを受信することができます。また、市のホームページは自動翻訳に対応している他、やさしい日本語やタガログ語等の多言語ページもあります。

焼津市
国際友好協会
とは...

国際化への対応と市内の友好団体への支援のために1993年に設立。外国につながりをもつ市民が増加する昨今、現代社会にふさわしい、多文化共生のまちづくり、人づくりに取り組んでいます。ご賛同いただける方は、ぜひ「サポーターズクラブ」へのお申し込みをお願いします。

【団体年会費】5,000円 【個人年会費】1,000円

問合せ先: 054-626-2191 (焼津市国際友好協会【協働推進課】)



外国につながる児童生徒のための進路ガイダンス 「あしたのいっぽ」を開催

7月28日(日)に和田地域交流センターにて、外国につながる児童生徒のための進路ガイダンス「あしたのいっぽ」を開催し、市内に住む外国につながる小中学生と保護者等80人が参加しました。

ガイダンスの冒頭では、ブラジルにルーツをもつ日本語指導コーディネーターの村上ナオキさんより、母国と日本を行き来してご自分の幼少期の経験や、日本語の習得方法などについてのお話をいただきました。その後、外国の文化を背景に持つ高校生と大学生から体験談を発表していただき、参加者は、先輩方の日本の学校生活で苦労した体験や日本語の勉強方法など、熱心に耳を傾けていました。

このようなガイダンスを通して、外国につながる子どもたちが、同じような体験をもつロールモデルにふれ、成功体験を見聞きすることで将来についてイメージできるようになり、より前向きに学校生活を送れるきっかけになるのではないかと思います。また、日本人には当たり前の教育制度も、外国から来た保護者にとっては、理解が難しいことも多く、このような機会に正しい情報を多言語で提供することは、とても重要なことだと改めて感じました。

参加者の声

児童生徒

- 高校に行く勇気もらった！
- 自分と同じ国出身の先輩の発表を聞いてうれしかった。
- 学校は勉強と考える場所。わからないことがあれば聞けばいい。
- 学校をさぼらないで、勉強をあきらめない。

保護者

- このような会は子どもたちの将来や進路にとっても役立ちます。
- この事業は私達保護者にとってとてもいい支えになります。これからも継続してください。
- このガイダンスについて、他の友達や家族にも紹介したい。



今年で3年目!

はじめての日本語教室

外国につながる市民を対象に、地域の日本人と対等な関係を築きながら、対話交流を通して日本語を身につける「はじめての日本語教室」を9月から11月の日曜日に全10回開催しました。日本語習熟度にあわせて2つのクラスに分かれた学習者約40人は、交代で参加する90人の地域の日本人サポーターとともに、家族や食べ物、ごみの分別や防災など、様々なテーマに沿った日本語に触れ、言葉だけでなく日本の文化や生活習慣を楽しく学びました。毎回、笑い声が絶えなかった教室。サポーターも、フィリピン、ブラジル、ペルー、ベトナムなど10か国にルーツをもつ学習者達の多様な考え方や生活習慣を学び、たくさんの刺激を受けました。



入門教室『どきどきクラス』

焼津市
主催

初級教室『わくわくクラス』

焼津市
国際友好
協会主催



本事業は、文部科学省の令和6年度の「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」の一環で実施しています。



市内最大の国際交流イベント



はあとふる
Yaizu
2025

開催決定!!

市内外のアーティストやダンスチームが集結し、国際色豊かなステージが繰り広げられるほか、世界各国の料理などを販売するイベント「はあとふる Yaizu」を今年も開催します! イベントの詳細は、2025年2月に発行予定の「焼津市国際友好協会だより No.60」でお知らせします。
お楽しみに!

日時: 2025年2月23日(日・祝)

11:30 ~ 15:00

場所: 焼津文化会館小ホール、展示室
(焼津市三ケ名 1550)



はじめての日本語教室 参加者の声

学習者

- とても楽しい学習方法で、教室もとても活発です。
- みなさんとても親しみやすく、新しい知り合いができることが嬉しいです。
- 本では学べないことを学ぶことができ、授業に満足です。
- 教室の外で、日本語を使って話すことがもう恥ずかしくなくなりました。

サポーター

- 思いが伝わった時の嬉しさが大きかったです。
- 伝わりやすい、やさしい日本語を使えるようにしたい。
- どの学習者さんも一生懸命「伝えよう」としてくれるところが感動した。
私も「伝えよう」という熱意をもっともちたいと思った。
- 学習者さんから外国の知らないことをたくさん教えてもらい、勉強になりました。